

# 環境活動レポート (2019年度)

対象期間 (2019年5月～2020年4月)



株式会社 美建ビルサービス

発行日 2020年9月29日

更新日 2020年10月11日

# 目次

	頁
1 : 組織の概要	1
2 : エコアクション 2.1 認証範囲	7
3 : 環境方針	8
4 : 環境負荷	9
5 : 環境目標	11
6 : 環境活動計画	11
7 : 実績と取組結果の評価	12
8 : 環境活動計画の取組の達成状況と次年度組	13
9 : 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	14
10 : 公開	14
11 : 代表者による全体評価と見直し内容	14

## 1：組織の概要

### (1) 会社情報

#### 【名称】

株式会社 美建ビルサービス

#### 【代表者】

代表取締役 小林 建雄

#### 【所在地】

本社 〒710-0016

岡山県倉敷市中庄2248番地の4

#### 事業所

栗坂事業所 〒701-0113

岡山県倉敷市栗坂334番地3

瀬戸事業所 〒709-0841

岡山県岡山市東区瀬戸町万富1046番地1

大仙寺作業所 〒701-1525

岡山県岡山市北区上高田字大仙寺349番地1

三田作業所 〒710-0011

岡山県倉敷市三田269番の1の一部

広島営業所 〒730-0046

広島県広島市中区昭和町3-4 山下ビル4F

広島久地事業所 〒730-0046

広島県広島市安佐北区安佐町久地1624-1

#### 【環境管理責任者】

責任者 事業部 部長 塩田 誠

担当者 山田 晴稔 (連絡先：086-463-1351)

#### 【事業内容】

産業廃棄物処分業(中間処理)、産業廃棄物収集運搬業、一般廃棄物収集運搬業、  
建設・解体工事業、建築物清掃業、自動車解体業

#### 【資本金】

98,000千円

#### 【設立】

平成元年1月25日

#### 【事業規模】(2019年度)

売上高 1,001,549千円

完成工事高 299,559千円

#### 産業廃棄物処理実績

・処分実績 47,097 m<sup>3</sup>

・収集運搬実績 45,737 m<sup>3</sup>

一般廃棄物収集運搬実績 592,100 kg

事業用地総面積 47,615 m<sup>2</sup>

事業用建物の延床面積 4,735 m<sup>2</sup>

従業員 32名

## (2) 事業活動内容

事業内容		栗坂 事業所	瀬戸 事業所	大仙寺 作業所	三田 作業所	久地 事業所
廃棄物処理	産業廃棄物処分(中間処理)	○				○
	産業廃棄物収集運搬	○	○	○	○	○
	一般廃棄物収集運搬	○	○			
建設・解体工事		○				
清掃		○				
自動車解体・フロン類回収			○			

## (3) 許認可

種類	許可・登録番号		許可・登録年月日	期限	備考	
産業廃棄物 収集運搬業	岡山県	第 03303009410 号	H27. 10. 03	H34. 10. 02		
		第 03353009410 号	R1. 10. 02	R6. 09. 17	特別管理産業廃棄物	
	岡山市	第 08310009410 号	H27. 11. 19	H34. 10. 02	積替保管有り	
	倉敷市	第 10010009410 号	H27. 11. 05	H34. 10. 02	積替保管有り	
	広島県	第 03400009410 号	H27. 05. 11	H34. 05. 10		
	鳥取県	第 03104009410 号	H28. 08. 11	H35. 08. 10		
	兵庫県	第 02806009410 号	H30. 10. 25	H35. 10. 24		
	香川県	第 03709009410 号	R1. 05. 23	R6. 05. 06		
	愛媛県	第 3807009410 号	H26. 10. 16	H33. 09. 28		
	島根県	第 3200009410 号	H30. 10. 22	H35. 10. 21		
	山口県	第 03500009410 号	H28. 05. 06	H33. 05. 05		
	高知県	第 03900009410 号	H28. 11. 17	H33. 11. 16		
	徳島県	第 3600009410 号	H29. 01. 06	H34. 01. 05		
産業廃棄物処分業	倉敷市	第 10020009410 号	H29. 05. 11	H36. 05. 10	栗坂事業所	
	広島市	第 07320009410 号	H29. 08. 26	H34. 08. 25	久地事業所	
一般廃棄物 収集運搬業	倉敷市	第 64 号	H30. 03. 01	H32. 02. 29		
	早島町	第 10 号	H30. 04. 01	H32. 03. 31		
	岡山市	第 4114 号	H30. 04. 01	H32. 03. 31	積替保管有り	
	赤磐市	第 22 号	H30. 04. 01	H32. 03. 31		
廃棄物再生事業者	岡山県	第 300007 号	H20. 10. 29	-	古紙・金属くず	
第一種フロン類回収	岡山県	第 331010448 号	R2. 06. 25	R7. 06. 24		
古物商	岡山県	第 721090020109 号	H21. 06. 16	-		
建設業	岡山県	(特-1)第 16061 号	R1. 07. 15	R6. 07. 14		
一級建築士事務所	岡山県	第 14002 号	H28. 02. 03	H33. 02. 02		
計量証明事業	岡山県	第 2-0161 号	H23. 03. 19	-	質量計量証明	
自動車解体	解体業	岡山市	第 20833000654 号	H27. 08. 20	H32. 07. 13	
	フロン類回収	岡山市	第 20832000654 号	H27. 06. 15	H32. 06. 14	
	引取業	倉敷市	第 21001000057 号	H30. 11. 06	H35. 11. 05	
建築物清掃業登録	岡山県	24 清 第 181 号	H30. 11. 02	H36. 11. 01		

(4) 産業廃棄物処理業事業計画の概要

○産業廃棄物収集運搬業の事業範囲

区域	保管施設名	産業廃棄物												備考	
		燃え殻	汚泥	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	金属くず	ガラス・陶磁器くず	鉱さい	がれき類	ばいじん	石綿含有産業廃棄物	保管場所面積 (m <sup>2</sup> )
岡山県		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
広島県				○	○	○	○	○	○		○		○		
鳥取県				○	○	○	○	○	○		○		○		
兵庫県				○	○	○	○	○	○		○		○		
香川県				○	○	○	○	○	○		○		○		
愛媛県				○	○	○	○	○	○		○		○		
島根県				○	○	○	○	○	○		○		○		
山口県				○	○	○	○	○	○		○		○		
高知県				○	○	○	○	○	○		○		○		
徳島県				○	○	○	○	○	○		○		○		
岡山市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	瀬戸事業所			○	○	○	○	○	○	○	○			687.00	256
	大仙寺作業所			○	○	○	○	○	○		○			850.00	811
倉敷市		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	栗坂事業所			○	○	○	○	○	○	○	○		○	880.00	310
	三田作業所	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	275.83	140
広島市				○	○	○	○	○	○		○		○		
	久地事業所			○	○	○	○	○	○		○		○	72.00	72.00

※ 自動車等破砕物を除く

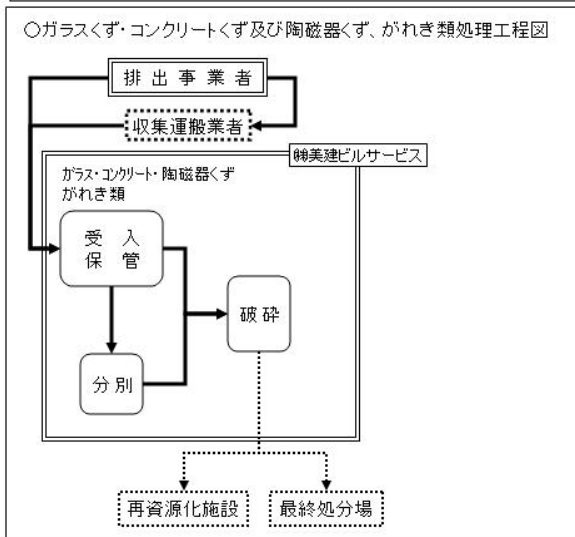
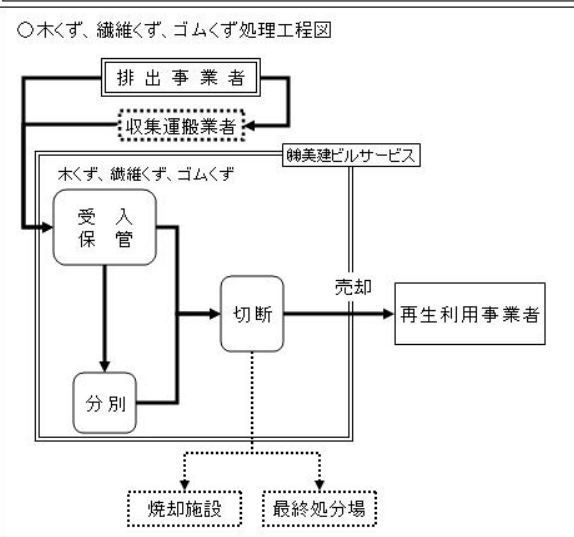
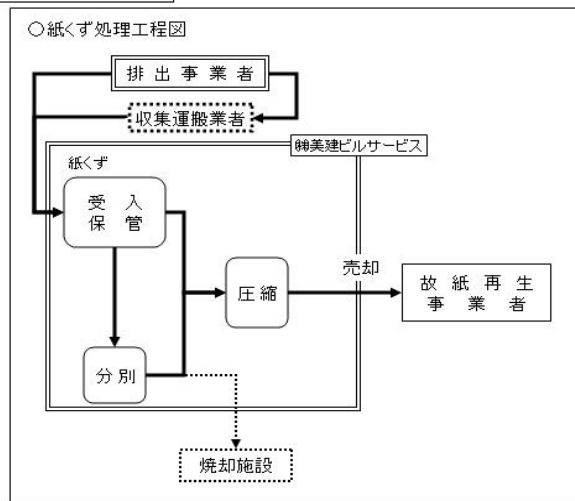
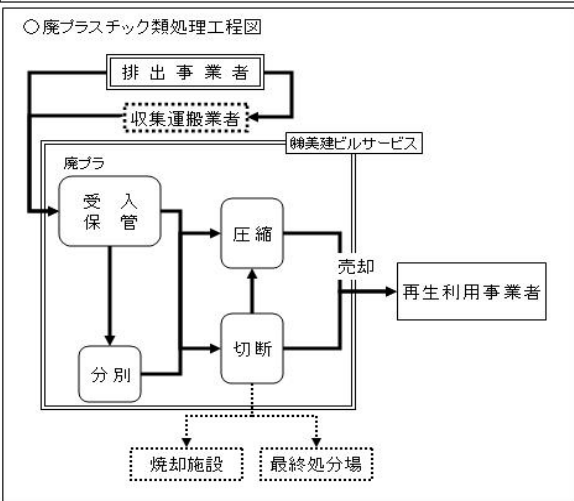
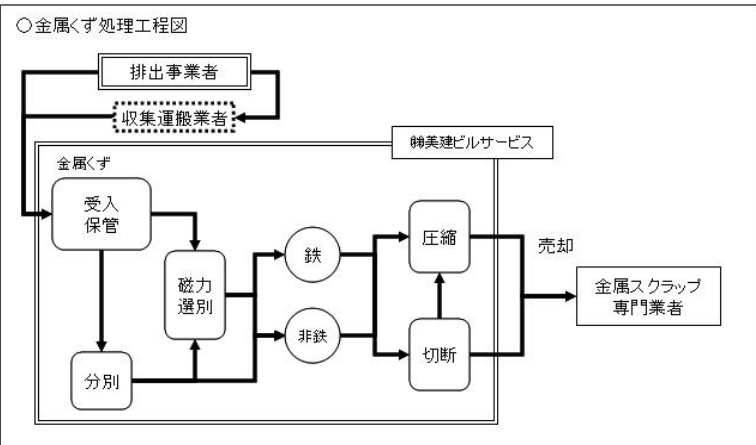
区域	保管施設名	特別管理産業廃棄物							
		廃石綿等	廃油	廃酸	廃アルカリ	燃え殻	汚泥	鉱さい	ばいじん
岡山県		○	○	○	○	○	○	○	○

○産業廃棄物処分量の事業範囲

・栗坂事業所

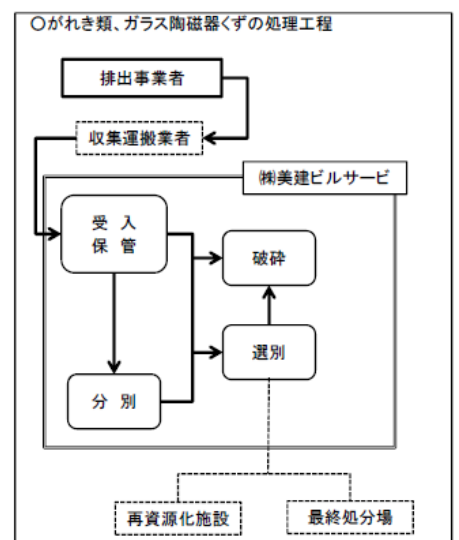
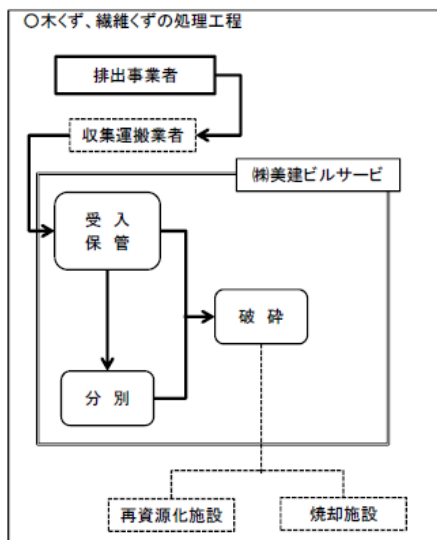
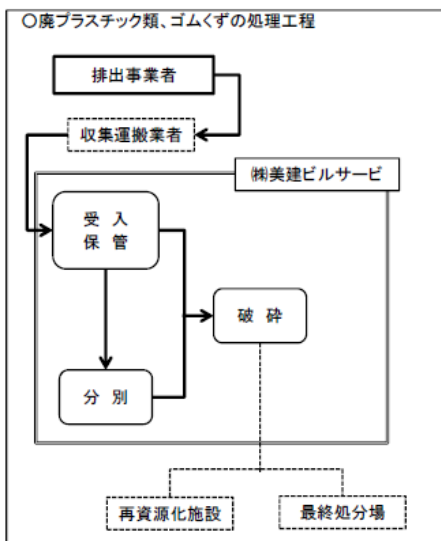
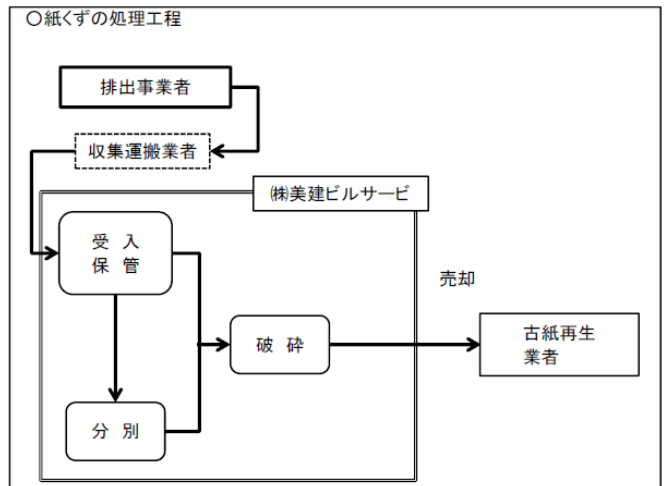
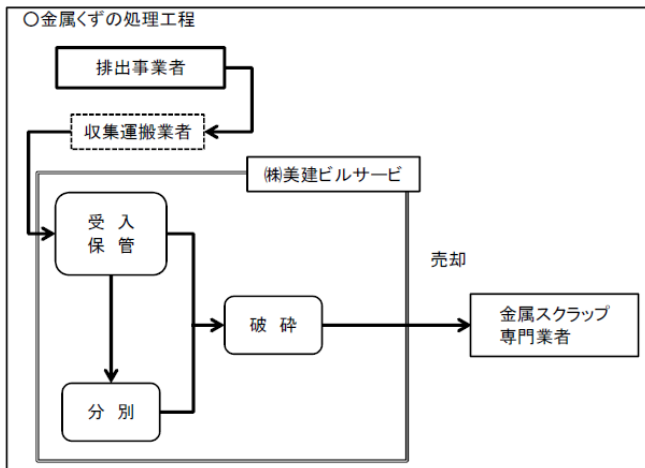
施設の種類	処分する産業廃棄物の種類	処理能力	施設設置場所
切断施設	廃プラスチック類・木くず	1.00t/日	倉敷市徳芳字横山 933-1 の一部 " 933-3 の一部 倉敷市栗坂字大畑 334-3 の一部 " 334-10 の一部  (用地面積 : 535.75 m <sup>2</sup> )
	金属くず	1.50t/日	
	繊維くず・ゴムくず	0.80t/日	
破碎施設	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず・がれき類	3.00t/日	
選別施設	金属くず	1.60t/日	
圧縮施設	金属くず	2.00t/日	
	紙くず	0.68t/日	
	廃プラスチック類	0.60t/日	

○処理工程図



・久地事業所

施設の種類	処分する産業廃棄物の種類	処理能力	施設設置場所
破碎施設	廃プラスチック類	1.26t/日	広島市安佐北区安佐町久地 1 6 2 4 番地 1
	紙くず	1.21t/日	
	木くず	1.79t/日	
	繊維くず	0.47t/日	
	ゴムくず	2.09t/日	
	金属くず	2.87t/日	
	ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず・がれき類くず	4.03t/日	
がれき類	4.84t/日		
選別施設	ガラスくず、コンクリートくず及び 陶磁器くず・がれき類くず	220.32t/日	
	がれき類	326.07t/日	



## ○環境保全措置

### ◇収集運搬計画

#### ①飛散及び流出の防止措置

- ・燃え殻、汚泥、鉍さい、ばいじんはドラム缶、ペール缶に入れ密封して運搬する。
- ・石綿含有産業廃棄物は、変形・断裂しないよう原型のまま整然と積込・荷降ろしをし、他の産業廃棄物と混ざらないよう区分し、シートで被覆して運搬する。
- ・廃石綿等は耐水性のポリエチレン製専用袋で二重に梱包して取扱い、荷台へのシートを掛け、または運搬容器（ペール缶、ドラム缶）の荷台へのロープ掛け固定を行い、運搬中の落下を防止する。
- ・その他産業廃棄物は荷台にシートを掛けて運搬する。

#### ②悪臭の漏出の防止措置

- ・汚泥運搬は、鉄製ドラム缶に入れて密閉して運搬するため、悪臭の漏出はない。
- ・その他の取扱う産業廃棄物から悪臭は発生しない。

#### ③その他環境保全措置

- ・待機中のエンジン停止、急発進・急加速及び不必要な空ぶかしに注意する。
- ・車両等の洗浄に努め、道路美化に努める。

### ◇保管計画

#### ①飛散及び流出の防止措置

- ・飛散のおそれのあるものはコンテナ内に保管してシートを掛けて飛散を防止する。
- ・石綿含有産業廃棄物を保管する場合は、他と区別して専用鉄製コンテナに保管する。
- ・流出するおそれがある場合は、鉄製コンテナ内に保管する。

#### ②悪臭発散の防止措置

- ・保管する産業廃棄物から悪臭は発生しない。

#### ③衛生害虫発生の防止措置

- ・保管する産業廃棄物から衛生害虫等が発生するおそれはないが、万一発生した場合には、薬剤散布を行う等の適切な措置を講じる。

#### ④地下浸透の防止措置

- ・保管する産業廃棄物は地下浸透するおそれはなく、また保管する産業廃棄物から汚水は発生しないので汚水が地下浸透するおそれもない。

### ◇中間処理計画

#### ①粉塵飛散の防止措置

- ・破碎時には、散水を行い粉塵の飛散を防止する。

#### ②騒音、振動の防止措置

- ・効率良い作業と作業計画で作業時間を減少させる。

#### ③悪臭発散の防止措置

- ・腐敗性有機物の付着したものは取り扱わないので、悪臭は発生しない。

#### ④地下浸透及び流出の防止措置

- ・処理する産業廃棄物に地下浸透や流出するおそれはないが、万一発生した場合には適正な回収方法で回収します。



(5) 車両・重機等

○廃棄物収集運搬車両

車両形式	最大積載量 (kg)	台数	車両形式	最大積載量 (kg)	台数
11tコンテナ車	10,600	1	4t ユニック車	2,900	1
	9,000	1		2,350	1
	11,500	1	4tヒアブ・コンテナ車	2,550	1
4tヒアブ車	1,500	1		2,400	1
	1,400	1	4tパッカー車	2,350	1
4tコンテナ車	4,050	1	4tパワーゲート車	2,000	1
	4,000	1	3tコンテナ車	3,000	1
	3,950	1	3tユニック車	2,850	1
	3,800	1	2tユニック車	2,000	1
	3,750	1	2tダンプ車	2,000	1
	3,700	1	2tコンテナ車	2,000	3
	3,650	1	2tパッカー車(LPG)	2,000	2
	3,550	1	軽トラック車	350	1
	3,450	2			
合計				32台	

○その他社用車

車両形式	最大積載量 (kg)	台数	車両形式	最大積載量 (kg)	台数
普通車 (バン)	750	1	普通乗用車	—	10
軽バン	350	2	軽ワゴン	—	1
ステーションワゴン	—	1	軽乗用車	—	1
合計				16台	

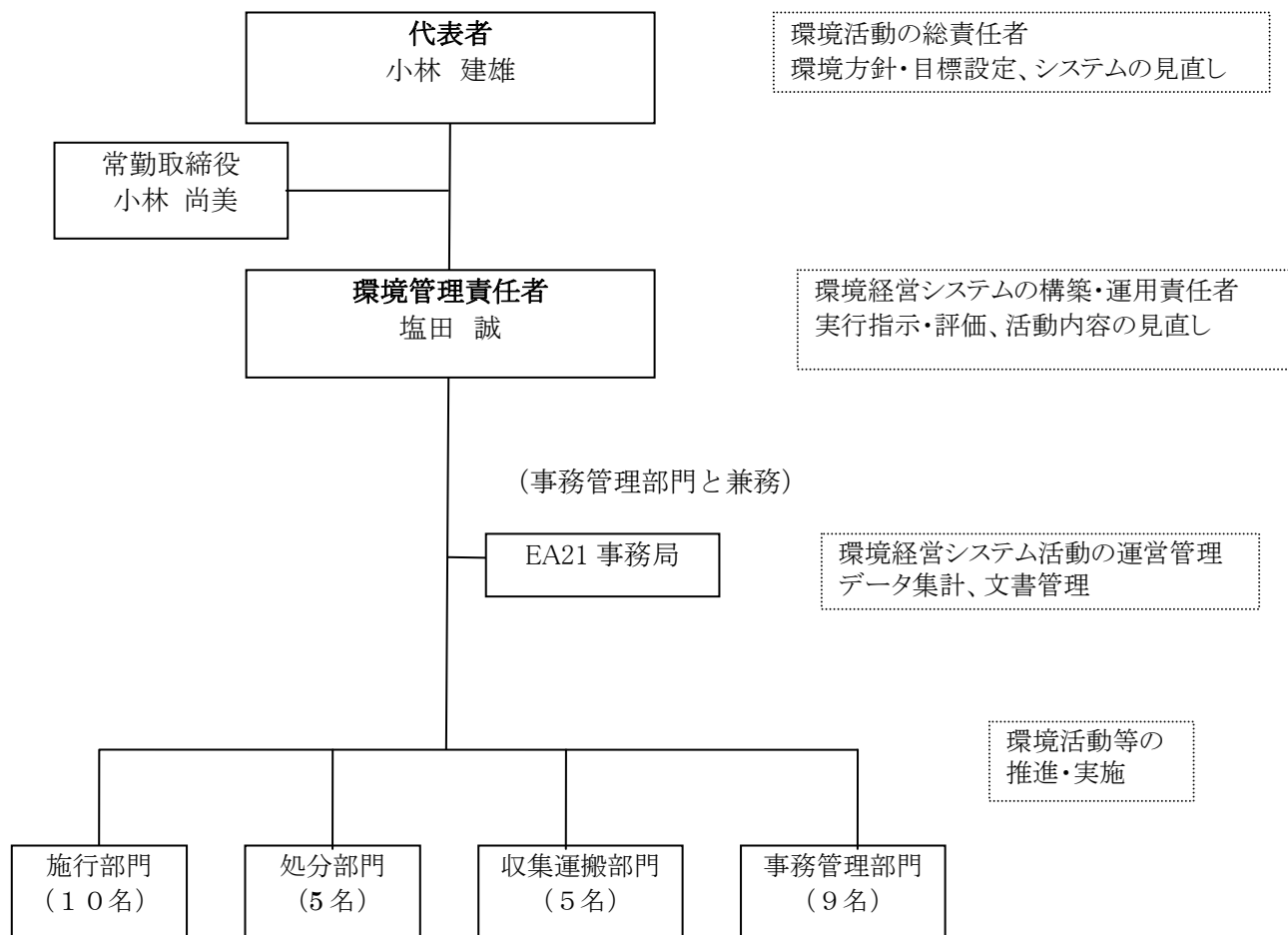
○重機等

種類	台数
油圧ショベル	7
ミニショベル	6
合計	13台

○フォークリフト

種類	台数
ディーゼル	4
LPG・ガソリン併用	1
合計	5台

(6) : 組織図



## 2 : エコアクション21対象範囲

- (1) 現在の登録認証範囲＝産業廃棄物処分業(中間処理)、産業廃棄物収集運搬業、  
一般廃棄物収集運搬業、建設・解体工事業、建築物清掃業、  
自動車解体業

対象事業所＝本社、栗坂事業所、瀬戸事業所、大仙寺作業所、三田作業所、  
広島営業所、広島久地事業所

レポートの対象期間：2019年5月～2020年4月

- (2) レポート発行日：2019年9月29日

### 3：環境方針

## 基本理念

株式会社美建ビルサービスは、廃棄物処理業、自動車解体業及び建築物解体業を主要な業務とし、静脈産業事業者の一員として、今世紀の重要な課題である循環型社会構築におけるリサイクルルートの拡大の重要性を、社内外に浸透させ、自ら環境負荷の少ない「持続可能社会」形成の一翼を担い、「エコアクション21」に基づく効率的で効果的な環境マネジメントシステムを構築し、環境保全活動を推進します。

## 基本方針

株式会社美建ビルサービスは事業活動全般にわたり、環境保全に取り組み循環型社会の形成に努める。

1. 環境関連法令、条例及びその他の要求事項を遵守する。
2. 環境目標を定め、継続的な改善と、定期的な見直しを行う。
3. 次の事項を環境活動とします。
  - ①廃棄物の再生率の向上
  - ②CO2の削減（エコドライブによる重機・車輛の燃費向上）
  - ③廃棄物処理及び建設工事に伴い発生する騒音、振動等への十分な留意
  - ④水の節約に努める
  - ⑤省資源化
  - ⑥再生資材、グリーン商品の購入
4. 環境方針は、全ての社員に周知し、広く一般に公開する。

制定：2007年12月22日

改定：2012年 7月30日

株式会社 美建ビルサービス

代表取締役 小林 建雄

#### 4：環境負荷

##### (1) 取扱産業廃棄物のうち埋立処分委託量

(単位：m <sup>3</sup> )		2017年度			2018年度			2019年度		
		取扱量	埋立量	埋立率 (%)	取扱量	埋立量	埋立率 (%)	取扱量	埋立量	埋立率 (%)
					前年比	前年比		前年比	前年比	
産業廃棄物		26,445	7,709	29.1	28,550 +8.0%	9,976 +29.4%	34.9	28,837 +1.0%	9,686 ▲2.9%	33.5
内 訳	木くず	8,032	299	3.7	7,105 ▲11.5%	286 ▲4.3%	4.0	8,768 +23.4%	50 ▲82.5%	0.6
	廃プラスチック類	8,187	2,570	31.4	10,208 +24.7%	4,079 +58.7%	40.0	8,395 ▲17.7%	3,882 ▲4.8%	46.2
	ガラス陶磁器くず	3,864	3,864	100.0	3,525 ▲8.8%	3,525 ▲8.8%	100.0	3,358 ▲4.7%	3,358 ▲4.7%	100.0
	がれき類	2,843	971	14.7	3,416 +20.2%	1,678 +72.8%	49.1	3,411 ▲0.7%	1,604 ▲4.4%	47.0
	金属くず	2,889	0	0.0	2,945 +1.9%	0 0.0%	0.0	3,760 +27.6%	0 0.0%	0.0
	紙くず	625	0	0.0	709 +13.4%	0 0.0%	0.0	748 +5.5%	0 0.0%	0.0
	建設混合廃棄物	5	5	100.0	642 +12740.0%	408 +8060.0%	63.6	852 +32.7%	852 +108.8%	100.0

##### (2) CO2 排出量

(単位：kg)		2017年度	2018年度	2019年度
			前年比	前年比
CO2 排出量		538,076	624,902 116.13%	688,034 110.10%
内 訳	軽油	420,523	487,494	518,679
			115.92%	106.39%
	ガソリン	57,073	55,378	60,125
			97.03%	108.57%
	灯油	3,813	7,219	3,289
			189.32%	45.56%
	LPGガス	3,510	16,402	67,060
			467.29%	408.85%
	電力	53,158	58,049	38,881
			109.2%	66.89%
事業所	本社	15,363	15,969	14,997
			103.94%	93.91%
	栗坂事業所	7,367	8,557	10,698
			116.15%	125.02%
	瀬戸事業所	23,874	26,465	5,080
110.85%			19.19%	
久地事業所	6,554	7,057	8,105	
		110.85%	114.85%	
中国電力㈱ 2009年度 二酸化炭素排出係数		0.628 kg-CO2/kWh		

## (3) 水の使用量

		2017年度	2018年度	2019年度
			前年比	前年比
使用量		1,525m <sup>3</sup>	1,199m <sup>3</sup> ▲21.4%	1,372m <sup>3</sup> +14.4%
内訳	本社	127m <sup>3</sup>	120m <sup>3</sup> ▲5.5%	123m <sup>3</sup> +2.5%
	栗坂事業所	834m <sup>3</sup>	544m <sup>3</sup> ▲34.8%	693m <sup>3</sup> +27.8%
	瀬戸事業所	487m <sup>3</sup>	535m <sup>3</sup> ▲5.0%	556m <sup>3</sup> +4.0%

## (4) 資材使用量

		使用量		
種類		2017年度	2018年度	2019年度
建設資材	生コンクリート	3 t	2t	56 t
	アスファルト	-	-	273 t
	砕石	376 t	-	-
	再生砕石	1550 t	320t	952t
	砂（山砂、海砂）	1.4 t	12t	-
	改良土	80 t	80t	-
	土質改良剤	22 t	49t	18 t
	真砂土	190 t	198t	1143 t
清掃資材	クリーナー	66 ℓ	150L	40L
	ワックス	10 ℓ	10L	10
塗装資材	塗料用シンナー	707 ℓ	756 ℓ	726 ℓ
	塗料	776 kg	793kg	780 kg
	塗料硬化剤	15 kg	27kg	0 kg

## (5) 第一種指定化学物質

第一種フロン類 種類	回収量		
	2017年度	2018年度	2019年度
CFC	-	-	-
HCFC	6.9kg	1.9kg	0.74 kg
HFC	4.9 kg	0.4kg	3.10 kg

塗料資材		使用量		
その他 種類		2017年度	2018年度	2019年度
1,2,4-トリメチルベンゼン		5.40 kg	8.72 kg	7.72 kg
1,3,5-トリメチルベンゼン		2.60 kg	2.90 kg	2.80 kg
エチルベンゼン		17.50 kg	18.40 kg	18.20 kg
キシレン		40.90 kg	45.90 kg	42.80 kg
トルエン		660.40 kg	690.42 kg	670.20 kg

## 5：環境目標

(中期目標期間 2019年度～2021年度)

環境目標	単位	2018年度 実績 (基準値)	2019年度	2020年度	2021年度
			目標値	目標値	中期目標値
			増減数	増減数	増減数
① 産業廃棄物の再生率	(%)	65.1	66.1	67.1	68.1
毎年1ポイントの増加			+1	+2	+3
② CO2排出量	(kg/ 百万円)	672.6	665.9	659.2	652.5
毎年(CO2排出量/売上高百万円) 1%の削減			▲6.7	▲13.4	▲20.1
③ 軽油車両燃費	(km/ℓ)	4.3	4.4	4.5	4.6
毎年0.1km/ℓの向上			+0.1	+0.2	+0.3
④ 水の使用量	(m <sup>3</sup> )	1199.0	1187.0	1175.0	1163.0
毎年1%の削減			▲1.0	▲2.0	▲3.0
⑤ 印刷・コピー用紙使用量	(枚)	100,100	99,099	98,098	97,097
毎年1%の削減(A4紙換算)			▲1,001	▲2,002	▲3,003
⑥ グリーン商品の購入	(%)	100	100	100	100
印刷・コピー用紙を100%再生紙					

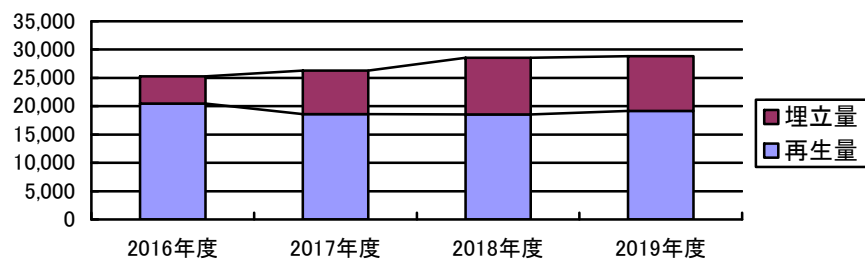
## 6：環境活動計画

環境目標	環境活動計画取組事項	対象年度	
		単年度	中期
①産業廃棄物の再生率の向上 (廃棄物の再生率の向上)  【対象：処部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内研修会・勉強会の実施</li> <li>新たな再生処分先の開拓</li> <li>廃棄物の分別の徹底</li> <li>排出事業者への分別廃棄の協力要請</li> </ul>	○	○
建設廃棄物の埋立量の削減 (廃棄物の再生率の向上)  【対象：施工部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内研修会・勉強会の実施</li> <li>建設リサイクル法の遵守</li> <li>分別解体の徹底(機械作業時に徹底)</li> </ul>	○	○
CO2排出量の削減 軽油車両燃費の向上  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業前点検の励行</li> <li>エコドライブの徹底、燃費の向上</li> <li>効率的運行経路の策定</li> <li>効率的な作業計画の立案</li> <li>事業所の冷房28度、暖房20度</li> </ul>	○	○
水の使用量の削減 (水の節約)  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い時の節水の徹底</li> <li>洗車、洗濯時の節水の徹底</li> <li>節水を推進するはり紙の掲示</li> <li>粉塵飛散防止の散水時の節水の徹底</li> </ul>	○	○
印刷・コピー用紙の削減 グリーン商品購入の実施 (省資源化)  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内文書の裏紙使用の徹底、社内文書のデータ化(裏紙の使用を喚起するはり紙の掲示)</li> <li>裏紙集積場の設置・明示</li> <li>両面印刷・縮小印刷の採用</li> <li>グリーン商品、再生資材購入</li> </ul>	○	○
良好な周辺環境の維持 (騒音、振動等への留意)  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートによる騒音、振動、悪臭のチェック</li> <li>工事現場の騒音、振動対策(防音シート等の使用)</li> <li>事業所周辺の随時清掃</li> <li>粉塵飛散防止の散水</li> <li>化学物質の適正取扱と保管</li> </ul>	○	○

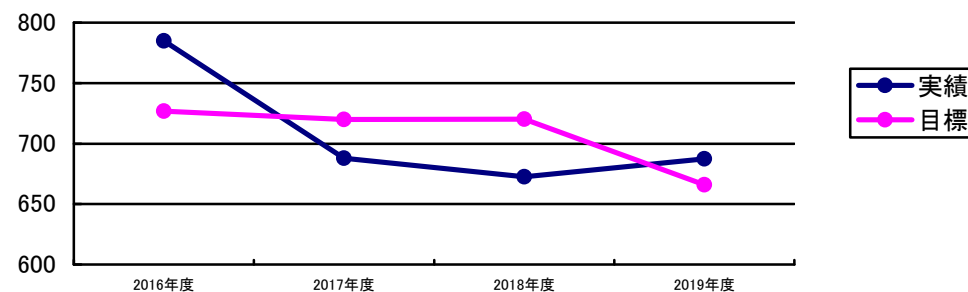
## 7：実績と取組結果の評価

環境目標	単位	2018年度	2018年度		取組結果の評価
		実績値	実績値 前年比	目標値 目標との差	
① 産業廃棄物の再生率	(%)	65.1	66.5	66.1	目標を達成できました。分別の取組と木くずの再生率の向上に因るものと考えられます。
毎年1ポイントの増加			102.1%	-0.4	
② CO2 排出量	(kg/百万円)	672.6	687.3	665.9	目標を達成できませんでしたが、全体的には効率の良い作業ができたと考えられます。
毎年1% (CO2 排出量/売上高百万円) づつの削減			102.1%	+21.4	
③ 軽油車両燃費	(km/ℓ)	4.3	4.9	4.4	目標を達成できました。前年度より燃費悪化の原因はクレーン車の使用増加によるものと考えられます。
毎年0.1km/ℓの向上			113.9%	+0.5	
④ 水の使用量	(m <sup>3</sup> )	1,199	1,372	1,187	目標を達成できませんでした。前年度より使用量が増加し、特に瀬戸と栗坂での使用量が増加しました。使用車量と使用機械の洗浄の徹底のためと考えられます。節水を心がけます。
毎年1%づつの削減			114.4%	+185	
⑤ 印刷・コピー用紙使用量	(枚)	100,100	112,300	99,099	目標を達成できませんでした。原因は仕事量の増加によるものと考えられます。
毎年1%づつの削減 (A4 紙換算)			112.1%	+13,201	
⑦ グリーン商品の購入	(%)	100	100	100	目標を達成しました。
印刷・コピー用紙を100%リサイクル用紙			±0	0	

産業廃棄物 再生量と埋立量(m<sup>3</sup>)



CO2排出量 実績と目標(kg/売上高百万円)



## 8:環境活動計画の達成状況と次年度取組

環境目標	環境活動計画取組事項	対象年度		達成状況	次年度取組
		単年度	中期		
①産業廃棄物の再生率の向上  【対象：処部門】  建設廃棄物の埋立量の削減 (廃棄物の再生率の向上) 【対象：施工部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内研修会・勉強会の実施</li> <li>新たな再生処分先の開拓</li> <li>廃棄物の分別の徹底</li> <li>排出事業者への分別廃棄の協力要請</li> <li>社内研修会・勉強会の実施</li> <li>建設リサイクル法の遵守</li> <li>分別解体の徹底（機械作業時に徹底）</li> </ul>	○	○	新たな再生処分先の開拓ができました。排出事業者様にも分別に協力して頂いております。埋立量は増加しましたが分別の徹底に取組み、建設リサイクル法の廃棄物の再資源化に重点的に取組みました	目標を達成できました。引き続き、埋立率の削減に努めます。
C02 排出量の削減 軽油車両燃費の向上  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>始業前点検の励行</li> <li>エコドライブの徹底、燃費の向上</li> <li>効率的運行経路の策定</li> <li>効率的な作業計画の立案</li> <li>事業所の冷房 28 度、暖房 20 度</li> </ul>	○	○	目標を達成できませんでした。軽油の燃費は向上していたので取り組みの結果は出ていると考えられます。	エコドライブの徹底の他に節電活動を積極的に取り組んでいきたいと考えています。
水の使用量の削減 (水の節約)  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>手洗い時の節水の徹底</li> <li>洗車、洗濯時の節水の徹底</li> <li>節水を推進するはり紙の掲示</li> <li>粉塵飛散防止の散水時の節水の徹底</li> </ul>	○	○	本社、栗坂事業所、瀬戸事業所全体で増加しました。その2事業所では車や重機むの清掃に多く使用したためと考えられます。	目標を達成できませんでしたので、事業場での削減を重点的に努めます。
印刷・コピー用紙の削減 グリーン商品購入の実施 (省資源化)  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内文書の裏紙使用の徹底、社内文書のデータ化（裏紙の使用を喚起するはり紙の掲示）</li> <li>裏紙集積場の設置・明示</li> <li>両面印刷・縮小印刷の採用</li> <li>グリーン商品、再生資材購入</li> </ul>	○	○	裏紙の使用や、社内文書データの推進を行っています。目標が未達成なのは、仕事量の増加における対外文書の増加が原因と考えられます。グリーン商品は、印刷・コピー用紙を 100%購入しています。	目標を達成できませんでしたので、取組みを継続しグリーン商品の購入、再生資材の使用も継続して行います。
良好な周辺環境の維持 (騒音、振動等への留意)  【対象：全部門】	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェックシートによる騒音、振動、悪臭のチェック</li> <li>工事現場の騒音、振動対策（防音シート等の使用）</li> <li>事業所周辺の随時清掃</li> <li>粉塵飛散防止の散水</li> <li>化学物質の適正取扱と保管</li> <li>第1種指定化学物質使用の製品の削減</li> </ul>			事業場及び工事現場の騒音、振動、悪臭は特に問題ありませんでした。第1種指定化学物質使用のフロン類や塗料は適正に取扱い保管しています。	今後とも、法令等を遵守し取組みを継続・実行します。



## 9：環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規等は遵守されていました。

上記以外の違反、訴訟等は過去3年間ありませんでした。

適用法規	適用対象	違反、訴訟等の有無
廃棄物処理法	収集運搬業	有
	処分業	無
	管理票の管理、保存	無
	廃棄物の投棄禁止	無
	廃棄物の焼却禁止	無
大気汚染防止法	特定粉じんの工事	無
フロン排出抑制法	特定製品のフロンの回収	無
自動車リサイクル法	引取業	無
	フロン類回収業	無
	解体業	無
建設リサイクル法	対象工事の特定建設資材	無
騒音規制法	事業活動、工事に伴う騒音	無
振動規制法	事業活動、工事に伴う振動	無
悪臭防止法	事業活動に伴う悪臭	無
消防法	指定可燃物貯蔵	無
建築基準法	工事	無
水質汚濁防止法	工事	無

## 10：公開

この環境活動レポートは、自社のホームページ上で公開予定です。

## 11：代表者による全体評価と見直し内容

### ○環境方針

今年度の変更はありません。

### ○環境目標と環境活動

産業廃棄物の再生率は、前年実績より 1.4 ポイント増加し、66.5%となりました。

年度目標（1 ポイント向上）は達成しました。取組の活動は行っていましたが処理する産業廃棄物の性質に因るものと考えられます。2020 年度から新たに開拓したガラス陶磁器くずの再生委託先によりガラス陶磁器くずの再生を増やしていきます。

売上高百万円当たりの CO2 排出量は 687.3 kg/百万円となり、年度目標（1%削減）をクリアできませんでした。ですが車の燃費は目標を達成していますので、省エネ運転結果はできていると考えられます。

水の使用量は各事業所で前年より増加し、年度目標を達成できませんでした。次年度以降も引き続き『毎年1%づつの削減』を目標とし、節水に取り組みます。

瀬戸事業所では、雨水を活用するタンクも設置しました。

印刷・コピー用紙は前年実績より 8%増加し年度目標（1%削減）は達成できませんでした、文書の電子化を推進し、環境目標を継続します。

印刷・コピー用紙、フラットファイルは全量グリーン商品としていますが、グリーン商品購入品目の拡大を図ります。

事業場、工事現場周辺での騒音・振動・悪臭等の異常・問題は発生していません。

### ○環境経営システム

来期もこの体制で環境活動に取り組みます。

### ○全体

事業活動遂行時には法令には条例及びその他の要求事項を遵守し、安全面に気を配り、環境活動を継続するよう努力します。